

年度來

試験日程決まる

電気技術者試験センター

(財)電気技術者試験センター
は、平成二年度の第三種電気
主任技術者国家試験、第一種
工事士試験の実施日程を発表
した。

各試験の実施予定は次の通り。
○第一種電気工事士試験・受験願書受付平成二年三
月十九日～四月四日・試験日(筆記)平成二年
五月・二十六日六月十日(技能)平成二年
七月二十九日・受験願書受付平成二年八
月一日～十四日・試験日(筆記)平成二年八
月一日～十四日・試験日(筆記)平成二年
十月十四日(技能)平成二年
四八八・受験願書受付平成二年六
月一～六月六日・試験実施本部東北支部(仙
台市青葉区中央二十九一
会が、十一月十三日に福島市
のサンスカイつりで開かれ
た。○第三種電気主任技術者國家
試験の実施日程を発表

した。

○第一種電気工事士試験

・受験願書受付平成二年八
月一～六月六日・試験日(筆記)平成二年
十月十四日(技能)平成二年
四八八・受験願書受付平成二年六
月一～六月六日・試験実施本部東北支部(仙
台市青葉区中央二十九一
会が、十一月十三日に福島市
のサンスカイつりで開かれ
た。

○第一種電気工事士試験

・受験願書受付平成二年八
月一～六月六日・試験日(筆記)平成二年
十月十四日(技能)平成二年
四八八

受け皿整備を協議



県土木部長らと懇談する正副会長(右)

県土木部幹部と懇談

本協会は、十二月五日福島市内で県土木部との座談会を開き、建築工事の工期やイメージアップ等をテーマに意見を交換するとともに、今後の電気設備工事の進め方や人材の確保等について話し合った。また平成二年における県事業の進め方等についても説明がなされ、その受け皿整備の進め方について話し合われた。

この座談会には、県から渡辺秀夫土木部長、江花亮次長、佐藤昭夫住宅課長、星久夫營繕課長が、また当協会からは大槻清会長、國津政夫、松崎勉両副会長らが出席した。

まず渡辺部長らから、本年度の県の公共事業の執行状況とこれから年度末に向けての発注計画、江花次長から平成七年の福島国体へ向けた施設整備の進め方について説明を受けた。このあと星営繕課長と佐藤住宅課長らが、それぞれの課の業務内容、来年度の見通し等について述べた。

引き続き協会側から①人手不足の対策と発注の平準化②工期の確保③市町村の歩切りに対する指導④新しい事業の展開等について要望した。これに対し渡辺部長らは、発注の平準化について「四月と五月における出来高がより上があるような発注体制を敷くことと冬期施工技術の確立による

結果、また第一種電気工事士試験は平成二年七月上旬頃から、第三種電気主任技術者国家試験は平成二年五月上旬頃の各支部で配布する予定。

このうち報奨金は六十歳以上六十五歳未満の対象高齢者となっている。

このうち報

21世紀へ向け誓い

第7回電気工事全国大会

名古屋



名古屋市で開かれた全国大会
平成元年、電気工事推進がテーマ

「平成元年、電気工事維新」をマーンテーマに第七回電気工事全国大会が十月十九日市制百周年を記念して世界デザイン博覧会開催中の名古屋市において開催され、全国の所属組合員代表千五百人が参加、久々の分科会形式が採用され、各ブロックの代表者より活発な意見が寄せられ大会はこれまでにない盛り上がりを見せ、参加者全員が二十一世紀に向けて新たなスタートを誓った。

全日本電気工事業組合連合会(米沢外秋会長)主催による第7回電気工事全国大会

ゴヤキャッスルで開かれた。

全国五万組合員の代表及び青年部代表など来賓を含め一千五百人が一堂に会し開かれた

本県電気工事工業組合から

は成田理事長、紺野、友部、

谷津田、前田副理事長をはじめ

県電工組理事、さらに青年部代表ら十一名が参加した。

午前中より開かれた青年部研修会は、「平成の時代に青

年部の英知を集めて未来を切り拓こう」をマーンテーマに

二百六十人が出席、全体会議

に統いて①ひと、②もの、③かね、④業界、⑤ゆめの五つのサブテーマに基づき、五分

科会が開かれた。それぞれ代表者が意見発表し、活発な討論が展開された。

午後一時からは親組合の分

科会が三テーマに分けて開かれた。第一分科会は「電気工事二法成立に伴う業界のあり方と進む道」、第二分科会は「電気工事業界の近代化」、

第三分科会は午前中よりの青

年部研修会が引き続き討議が

行われた。

法律を育てる責務

分科会は全国各ブロックか

ら代表者一名が意見発表を行

い、座長を中心に意見交換

が行われたが、久々の分科会

形式は大きな成果を収めた。

谷口副会長(中部連合会会長)

が歓迎の挨拶したあと、米沢

会長が、全国大会が全日電工

は午後二時四十分から開かれ

た。

午後二時四十分から開かれ

た。

年間の大事業として定

められたが、久々の分科会

が行われたが、久々の分科会

が行われたが、

